

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第40号 平成21年12月13日

梶原待望の大きな1発！

志村惜しくも完封勝利を逸す・・・



11/28(土)KSCプレーオフ1回戦が、東京は谷中公園野球場にて、東京Brother'sと行った。道中、高速で、渋滞に嵌った時点では、開幕時間に間に合うかの心配も有ったが、渋滞区間を通過してから、スムーズに流れ、無事現地に到着出来た。今日は先攻、先頭打者が打った初球の打球は、軟式独特の回転打球、その処理に一塁手が手間取った間に、出塁、その後2盗、2番の哲也が、左越2を放ち、先ず先制、続く深沢が3球目をきっちり左中間を抜き、2点目、この2点が後半まで、大きく響いた。先発は志村、先頭打者に中前安を放たれたが、後続をきっちり抑え、6回まで行進、そして最終回に大きくゲームが動いた。「代打俺」と告げたキャプテン政司が2球目に左前安で出塁、続く哲也の中越2で、一塁ランナーは、一挙3塁へ、そして、前の打席で、右越2を放ち気を良くしている梶原に回った。その梶原への初球、甘いコースにきた初球を迷わずスイング、打球は、高く張られたネットを越え、今期初のスリーランで、今日のゲームを決定付けた。また、打撃不振の泉もきっちり右に運んだ。その裏の最終回、予選リーグも完封試合を行っただけに、今日もかと思った1死後、相手スコアボードに1が入ってしまった。相手打線の中で、志村にタイミングが合っていた、1番打者に4球目、カウント1-2の4球目に梶原同様、左柵越えを放たれ、自責点1を記録した。今日のゲームは、やはりリーグ1位で通過して来ただけに、常に予断を許さなかった。しかし、それに輪を描け、我がチームも締まったゲームが出来たと思う。取るとき時に、点を取る。守らなければならない時に、一丸で守る。こういうゲームが常に出来れば、連勝街道が築けるのに・・・

でもそんなに野球は甘くない。恐らく準決勝は、翌年になるだろうが、勝つかぶとの緒を締め、来年のこの大会に備えたい！